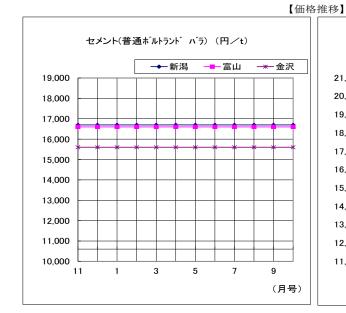
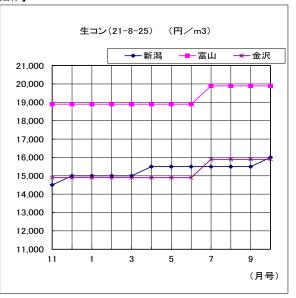
5. 主要建設資材の市況

記事提供:(一財)経済調査会 北陸支部

	<u>。</u>		
品目	7~9 月期の状況と現況	先行き	
セメント	下期より値上げ交渉が本格化か 【新潟県】セメントメーカー側では、物流や設備投資に掛かるコスト上昇を理由に、2025年4月より t 当たり2,000円程度の値上げを表明。大幅値上げが市場に浸透して以降、石炭価格の軟調な推移、 為替のやや円高傾向から、需要者側の値上げに対する抵抗感は強い。販売側では本格的な交渉に向けて時期を窺っている。先行き、横ばいで推移しよう。 【富山県】セメントメーカー側では、物流や工場の維持修繕に関わる諸コストの上昇を主要因として2025年4月からの値上げを表明。需要者側は、度重なる値上げに対し、難色を示している。メーカー側の値上げに対する足並みは揃っていることから、需要者側は今後の価格交渉に警戒感を強めている。交渉が本格化するまでは、横ばいで推移しよう。 【石川県】セメントメーカー側では、物流や設備の維持補修などに要するコスト増を背景に値上げを表明。需要者側は石炭価格の下落や為替が円高傾向に振れていることで、値上げに対し難色を示しているが、メーカー側は強気の姿勢を崩していない。2025年4月からの値上げを目指し、下期より需要者側との交渉を本格化させる見通し。当面、現行価格水準を横ばいで推移しよう。	(水· 5物) (新潟) (富山) (金沢)	
生コンクリート	新潟地区・富山県新川地区・石川県七尾地区で価格上伸 【新潟県】新潟生コン協組では、製造コスト高騰分の価格転嫁が不十分として、2024年4月よりm3当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉している。地区内の出荷量が減少傾向にあり、非組合員へ物件が流れるケースも散見されるが、協組は数量より価格重視の方針を堅持した結果、9月には値上げの一部であるm3当たり500円の値上げが浸透した。非組合員においても販売価格を底上げする動きがあり、先行き、強含みで推移しよう。 【富山県】原材料である骨材の度重なる値上げを主要因として、県内各生コン協組では、2024年4月よりm3当たり1,000円の値上げを表明。新川地区では、非組合員が存在せず他地区からの搬入もない環境下で、新川生コン協組は共販体制を軸に価格交渉を進めた。需要者側においても、購買先が限られる中、安定供給を優先し、値上げを容認する姿勢が主流となった結果、7月にm3あたり1,000円の上伸に至った。先行き、横ばいで推移しよう。 【石川県】工場経費および原材料費、運搬費の上昇を背景に、県内各協組はm3当たり1,000~2,000円の値上げを打ち出し、需要者との交渉を進めている。金沢、小松地区では、積み残し分500円の値上げ交渉が継続しているものの、市況に動意は見られない。一方、七尾地区においては堅調な需要を背景に新価格が浸透し、9月にm3あたり1,000円の上伸を示した。積み残しを抱える各協組は、継続して値上げ交渉を進める構えで、先行き、強含みで推移しよう。	(第四) (金沢)	
骨材	富山・石川で価格上伸 【新潟県】路盤材メーカー各社では、出荷量の低迷および電気・燃料費の高騰による製造コストの上昇を理由に、2023 年 4 月より m3 当たり 500 円の値上げを表明。新潟地区では需要が乏しく新価格の浸透には至っていないが、隣接する阿賀野地区では価格交渉が進展し、2024 年 7 月にm3 あたり 300円の上伸に至った。今後の工事の状況次第では、供給元が同じである新潟地区においても交渉が進むと見られる。先行き、強含みで推移しよう。 【富山県】富山県骨材販売協同組合は、2024 年 4 月出荷分から各種製品の値上げを打ち出した。特に路盤材については従前より需要が少ないため、過年度交渉の積み残し分の獲得を目指し、需要者との交渉を進めた。販売側はトンネル向け舗装工事に伴い砕石需要が旺盛で、需給がひっ迫していることや再生路盤材の価格上伸を好機として、売り腰を強めた。需要者側は製品確保のために値上げの一部を受容し、9 月にm3 当たり 450 円の上伸を示した。先行き、横ばいで推移しよう。 【石川県】路盤材メーカー各社は、工場経費、運搬費などの上昇を背景に 2024 年 4 月以降順次値上げを実施。金沢・小松・白山地区では年度当初、荷動きは冴えない状況が続いていたものの、供給メーカー数も限られることから売り手主導で交渉が進展。今年度発注工事が稼働するにつれ徐々に新価格が浸透し、8 月にm3 当たり 400 円の上伸を示した。先行き、横ばいで推移しよう。	(C-40) (新潟) (富山) (金沢)	





品目	7~9 月期の状況と現況	先行き	
棒鋼	全県、先行き、弱含み推移 【新潟県】荷動きは鈍く、精彩を欠いている。原材料の鉄スクラップ価格が下落したため、需要者側は値下げ圧力を強めている。しかし、販売側はメーカー側の電気料金の高止まりを背景とした価格重視の姿勢から、採算確保のため価格維持に努めた結果、価格は横ばいで推移した。一方、原材料価格の先安観は市場に広まっており、需要者側の値下げ要求は強まる模様。先行き、弱含みで推移しよう。 【富山県・石川県】 需要に盛り上がりを欠き、先行きにも明るさが見えない中、販売側は現行水準維持に注力することで、横ばいで推移した。8月、9月に原材料の鉄スクラップ価格が下落したことで、需要者側の値下げ圧力は高まっている。秋需は例年並みには届かないとの声も聞かれ、弱基調に転じる気配が濃厚。先行き、弱含みで推移しよう。	(異形棒鋼) (新潟) (富山) (金沢)	
コンクリート二次製品	全県、一部製品で価格交渉が進展 【新潟県】メーカー側は、2023 年 4 月より実施している値上げの積み残し分を獲得すべく、交渉を進めてきた。2024 年 4 月からは、骨材の更なる値上げが実施されたことを背景に、製造コスト上昇による採算悪化を懸念したメーカー側は、早急に価格転嫁が必要であるとして売り腰を強めてきた。需要者側は、度重なる値上げに対して抵抗を示しつつも、原材料価格の上昇に一定の理解を示したことで9月に価格は上昇。先行き、横ばいで推移しよう。	(道路用製品) (新潟)	
	【富山県】メーカー各社は、人件費や輸送費の高騰を理由に2024年1月以降から値上げを実施しているが、需要が低調であり、交渉に進展はみられない。そうした中、メーカー側は競合の少ない製品などの値上げに注力する方針へシフトしており、ヒューム管等の一部製品は価格が上伸した。メーカー側は下期の需要期に向けて道路用製品等の売り腰を強めていく構え。目先、横ばいで推移しよう。	(富山)	
	【石川県】メーカー側は、2024年4月に運搬費の上昇を要因として値上げを実施。春先は荷動きが冴えず、度重なる値上げに対し、需要者側が抵抗を強めたため、交渉は平行線を辿っていた。しかし、メーカー側が震災の影響に伴う運搬効率の悪化に危機感を抱き、今年度発注工事の稼働に伴い売り腰を強めた結果、9月までにボックスカルバート等の製品で価格は上伸した。下期以降は、競合の少ないメーカー各社のオリジナル品の値上げに注力する構え。先行き、横ばいで推移しよう。	(金沢)	
アスファルト合材	各県、価格上伸 【新潟県】石粉の大幅値上げや骨材・運搬費の値上げにより製造コストが上昇しているとして、販売 各社は春先以降に値上げを実施。販売各社で値上げ時期や金額は異なるが、出荷量の減少や製造コストの上昇に伴う採算悪化を背景に、売り腰を強めてきた。需要者側は、値上げに対して抵抗を示したものの、原材料価格の上昇に一定の理解を示し、値上げの一部受け入れたことで9月に価格は上伸。 先行き、横ばいで推移しよう。	(粗粒-20) (新潟)	
	【富山県】販売各社は、骨材や石粉などの原材料価格高騰に加え、輸送コストや出荷量減少に伴う固定費の増加を背景に 2024 年 1 月~6 月にかけて値上げを表明し、需要者と交渉。需要者側は値上げに抵抗していたものの、製造コストの上昇に対して一定の理解を示したことで値上げが浸透し、9 月に価格は上伸。目先、横ばいで推移しよう。	(富山)	
	【石川県】原材料や輸送コストの上昇を背景に、販売側は春先以降に値上げを表明し、需要者と交渉を継続してきた。値上げ幅は各社によって異なるものの、骨材や石粉、輸送費等の製造コスト上昇分を価格転嫁する必要があると各社共通の課題として認識され、足並みが揃った。需要者側も、製造コスト上昇に対して一定の理解を示したことで、9月に価格は上伸。先行き、横ばいで推移しよう。	(金沢)	
[LII + 40 + 44 ± 40]			

【価格推移】

